

コベカツクラブのみなさま

コベカツクラブの活動にあたっての熱中症、雷発生時、警報発表時の対応 および個人情報の取扱いについて

7 月 18 日から体験入会が、9 月からはコベカツが開始します。活動にあたっての熱中症や雷発生時、警報発表時の対応及び個人情報の取扱いについてお送りします。各コベカツクラブ内で徹底のほどよろしくお願いします。

記

1. 熱中症の事故防止

近年の記録的猛暑により、身体に負担がかかりやすくなっているため、水分・塩分補給や健康観察をし、活動を中止することも選択することをお願いするとともに、下記留意点について徹底をお願いします。

○活動にあたっての留意点（実施可否の判断を含む）

- ・活動前日には、下記ホームページにおいて「熱中症特別警戒アラート」や「熱中症警戒アラート」、「神戸市の暑さ指数」予測を確認し、翌日の活動に備えてください。

※「熱中症特別警戒アラート（前日 14 時頃発表）」が発表された場合、当日の市立学校園は臨時休業となり、コベカツクラブの活動も必ず中止してください。

【環境省熱中症予防情報サイト（神戸市情報）】

https://www.wbgt.env.go.jp/graph_ref_td.php?region=07&prefecture=63&point=63518

- ・「活動場所の暑さ指数（WBGT）」が 31 以上の場合は、活動を必ず中止してください。
- ・活動開始前および活動中に、活動場所の暑さ指数（WBGT）を必ず計測してください。（中学校内の測定器の保管場所は事前に学校へ必ずご確認ください。）
※中学校に保管している WBGT 測定器の使い方はこちら
<https://kobe.cms8341.jp/cms8341/documents/81566/wbgtguide.pdf>
- ・熱中症対策については、活動場所への移動なども含めて対応し、活動終了後にも適宜水分補給を行い、休息をとるなどして帰宅させてください。

- 暑さ指数を用いた指針 別紙 1 のとおり
- 熱中症対応フロー 別紙 2 のとおり

2. 屋外での活動中における落雷事故の防止

屋外での活動等において、落雷の危険性を認識のうえ事前に気象情報を確認するとともに、天候の急変などの場合にはためらうことなく活動計画の変更・中止等の適切な措置を講ずるようお願いいたします。特に、指導体制が変わった場合等にも対応に遺漏の無いよう十分留意をお願いいたします。

参加者の安心・安全を最優先に考えて対応いただくようお願いいたします。

○落雷の兆候やそれに係る対応等の例

- ・厚い黒雲が頭上に上がった際には、雷雲の接近に注意してください。
- ・かすかでも雷鳴が聞こえる際には落雷の危険があるため、退避してください。
※退避場所については、あらかじめ学校と確認を行ってください。
- ・落雷の危険がある場合には、すぐに安全な場所（鉄筋コンクリートの建物、自動車、バス、列車などの内部）に避難してください。
- ・落雷の兆候やそのおそれのある場合には、無理に屋外を移動させないようにしてください。

【ひょうご防災ネット】

<https://www.city.kobe.lg.jp/a46152/bosai/prevention/preparation/mail/index.html>

【雷ナウキャスト】

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/thunder2-1.html>

3. 警報発表時の対応

警報発表時や災害発生時などにより学校が休校となる場合など、活動時間の開始までに、活動場所の区で下記気象警報が発表されている場合は、活動を中止してください。

なお、活動開始前に下記気象警報が発表されることが予想できる場合には、子供の安全を最優先に、あらかじめ中止することを検討してください。

	活動開始 1 ～ 2 時間前※まで (目安)	活動中	解散時
活動場所 (区) に 警報発表	中止	活動を中止し、 生徒の帰るタイミン グを検討ください	生徒の帰るタイミン グを検討ください

※参加する生徒の移動時間を考慮して、各コベカツクラブであらかじめ設定してください。

○（学校園の臨時休業の対象となる）気象警報

大雨※、土砂災害※、暴風、暴風雨、大雪、(高潮※)

※はレベル 3 以上の警報の場合

- ・高潮については、高潮浸水想定区域に該当する学校園が地域の実情に応じて臨時休業の対象とするかを判断しているため、学校にご確認ください。

○防災気象情報の情報体系 別紙 3 のとおり

4. 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」を遵守する他、活動によって知り得た個人情報を漏洩せず、適正に取り扱ってください。

参加者（未成年の場合は保護者を含む）に無断で、個人が特定できる活動写真をホームページやSNS等に掲載することなどが無いように、十分配慮してください。

○コベカツクラブのあり方についての方針「2-18. 個人情報の取扱い」参照

別紙 1

暑さ指数を用いた指針

○運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が 上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・ 塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水 分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必 要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注 意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

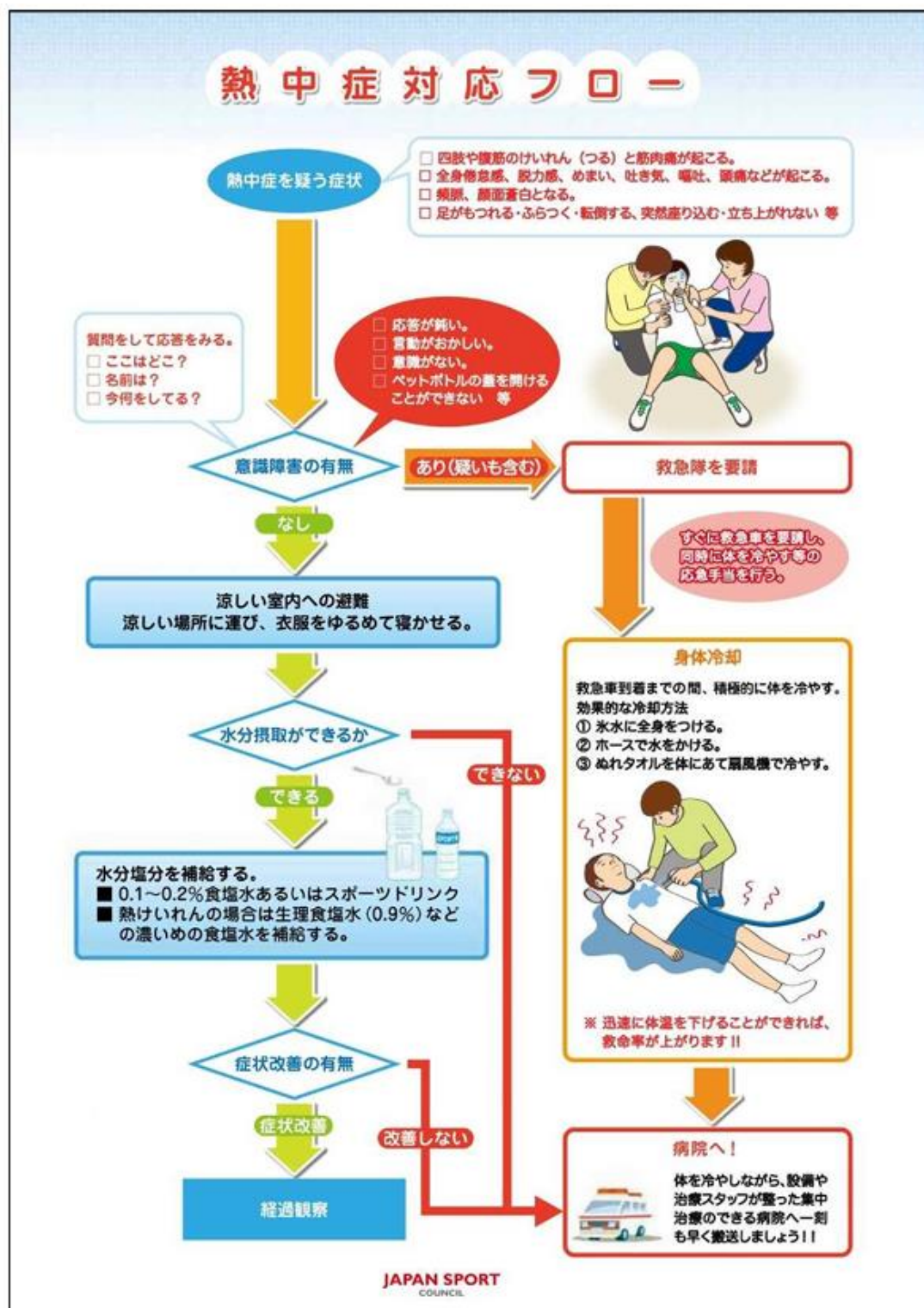
[(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」 (2019) より]

○日常生活に関する指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28～31) ※1		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25～28) ※2	中等度以上の生活 活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。
注意 (25未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険 性がある。

※1 28以上31未満、※2 25以上28未満を示します。

[日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver. 3」 (2013) より]



〔「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」独立行政法人日本スポーツ振興センターより〕

別紙 3

防災気象情報の情報体系

	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	住民が とるべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1		早期注意情報			災害への心構えを高める

↑
指定河川がないため、神戸市への発表はない

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪